

創政会・公明代表
倉田源右門議員



● 中期財政見通しについて ● 若者世代との対話の推進について

そのほかの質問
・鳥獣害対策について
・人事異動に伴う事務引き継ぎについて

代表質問

①昭和40年頃までは、未婚の青年男女が集い活動する青年団活動が活発

問 発表された平成31年度までの中期財政見通しは、平成30年度までは健全財政が維持されると思える。しかし、平成31年度の公債費見通しは5,000万円増加している事や繰出金の見通しは4,300万円増えている。平成32年度以降さらに増え、財政調整基金年度末残高は、平成32年度末には5億円前後になるのではないかと危惧されるが、どうなのか伺う。

②近年の成人式は、新成人の方が自ら企画し、内容も大変素晴らしい。成人式から3年後、7、8年後に若者たちとの懇談会をもつたらよいと思うがどうか。

答 平成32年度以降急激に財政状況が悪化するものではないが、単年度のプライマリーバランスを均衡させ、安定した財政運営としていくためには、一般財源を更に確保していく必要がある。全国に先駆け平成12年度から取り組んできた行政改革を一層推進するとともに、ガバメントクラウドファンディングの活用やふるさと納税への取組みを強化し、新たな財源確保に努め、50年、100年先まで持続的に発展し続けていけるまちづくりを進めていく。

日本共産党代表
山田安信議員



● 都市計画の「立地適正化計画」について ● 山岸正裕市長の違法行為の問題について

そのほかの質問
・勝山市観光まちづくり会社について
・勝山ニューホテルの改修工事について
・公共施設等総合管理計画の具体的な取り組みについて
・「安定ヨウ素剤」の配備と配布について

代表質問

①「手続きが完了していないのに工事をしたことが誤りだった」のは、「手引き」の規程を知りながら守らずに市長決裁して工事をしたからで、法的知識の不足が原因ではない。

問 急速な人口減少及び市街地の空洞化に対処すべく、都市機能の集約を目的とした立地適正化計画を策定しているが、
①中部縦貫自動車道とインター線の開通で北部中学校区域は定住地域となる可能性があり、新しい環境変化に対応できるようにはすべき。
②市街地空洞化は都市機能を集約しても好転するの疑問。周辺部は都市機能を制限すると過疎化が加速する危険がある。

③市は、つじつま合わせのために何でもするという異常事態になっているのではないか。

答 ①誤りの要因は、公職選挙法や地方自治法の不知により、手続きが可能なとの判断から工事を発注し、完成間近によりやが法に抵触することに気がついたもの。決して故意に規定違反を侵したものではありません。
②形式的には虚偽公文書作成にあたるが、日付をさかのぼることで書類を本来あるべき姿に整えようとする事務執行上必要な行為であると考えます。
③議員には再度確認願いたいですが、時系列が間違っている。内部から法に違反する恐れがあるという指摘を受けた後は何もしていない。事実ではないと考える。